

対策計画書

届出者	住所	堺市堺区南安井町1丁1番1号	氏名	社会医療法人 清恵会 理事長 佐野 記久子
特定事業者の主たる業種		83医療業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		堺市堺区で2病院1クリニックを擁する医療法人です。総病床数は576床で、救急医療から訪問看護まで幅広く地域医療を担っています。平成27年10月に清恵会病院と清恵会三国丘クリニックを統合し、現在の南安井町に移転開院しました。又、堺区及び北区に医療専門学を開設しています。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間	
平成 29 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日 (3年間)	
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量	7,659 t-CO ₂
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)	8,209 t-CO ₂
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)	7,700 t-CO ₂
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))	8,251 t-CO ₂
選択	目標削減率 (排出量ベース) 0 %
レ	目標削減率 (原単位ベース) -0.5 %
	目標削減率 (平準化補正ベース) -0.6 %

目標削減率に関する考え方

当法人は、急性期機能病院である清恵会病院と、慢性期療養型機能病院である清恵会三宝病院を主体に事業展開している医療業であることから、診療機能の強化並びに患者様の療養環境の向上を考慮した施設設備運用をして総排出量削減のため努力致します。

但し、主な事業所の清恵会病院が、機能改善のため平成29年4月1日に三宝病院から60床を移転増床し延べ入院患者数が増加する事や、移転以来未使用の8階を用途変更し有効活用する計画がなされているために、エネルギー消費量の増大は避けられず、平成28年度比での温室効果ガス排出量削減は予測困難と思われませんが、継続して温室効果ガス排出量削減に努力致します。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	0 t-CO ₂ 吸収量による削減率	0.0 %
-------------	-------------------------------	-------

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (延床面積)

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

毎月の施設運営会議（各施設の管理者出席）においてエネルギー使用データを基に、現状の把握と対処方法について協議しています。またエネルギー使用量等の数値を各所属長レベルにも周知し省エネへ行動推進を実行している。

省エネを推進する上での注意事項をまとめた『エコライフ宣言』を作成、各部署に掲示して全社員の意識向上を継続している。

対 策 計 画 書

対 策 計 画 書			
届出者	住所	大阪府大阪市住之江区南港東 2-2-39	氏名 清和ウエックス株式会社 代表取締役 廣瀬 武
特定事業者の主たる業種		78洗濯・理容・美容・浴場業	
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要		リネンサプライ業として、ユニフォームレンタル、テーブルリネンサプライ、ホテルリネンサプライ、産業用リネンサプライをサービスし、全国に関連工場が16拠点ある。	

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1)計画期間			
平成	29年	4月	1日～平成32年3月31日(3年間)
(2)基準年度における温室効果ガス総排出量		6,187 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量(平準化補正後)		6,392 t-CO ₂	
(3)温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排出量)		6,120 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		6,330 t-CO ₂	
選択		目標削減率(排出量ベース)	0%
		レ 目標削減率(原単位ベース)	3%
		目標削減率(平準化補正ベース)	3%

目標削減率に関する考え方

改省エネ法に基づき、年1%ずつの削減を計画し、3年間で3%削減する

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	0 t-CO ₂	吸収量による削減率	0.0%
-------------	---------------------	-----------	------

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値(生産量(計量値))

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

エネルギー管理統括者：常務取締役 市村成行、エネルギー管理推進者：大阪生産部部长 西田征他

対 策 計 画 書

対 策 計 画 書			
届出者	住所	大阪府大阪市阿倍野区旭町1-2-7 あべのメディックス13階	氏名 全星薬品工業株式会社 代表取締役 淵辺 徹
特定事業者の主たる業種		32 その他の製造業	
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要		主に医薬品の製造を行っており、大阪府内では2工場と1本社を有している。	

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
平成	29	年	4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		13,062 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		14,315 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		16,300 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正))		17,870 t-CO ₂	
	選択	目標削減率 (排出量ベース)	0 %
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3 %

目標削減率に関する考え方

温室効果ガス排出量は製造量に影響することから、本計画書では、生産量を母数に排出原単位を設定し、目標年度である平成31年度において、大阪府内における温室効果ガスを原単位ベースで3%削減する目標をかけたるとともに、総排出量についても削減に努めていきます。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	0 t-CO ₂	吸収量による削減率	0.0 %
-------------	---------------------	-----------	-------

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (生産量 (医薬品: 固形製剤))

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

- ・ 全社的に温暖化対策に取り組むため、エコアクション21を導入しています。
- ・ EHS事務局を設置し、年4回対策の進捗状況を報告し、現状改善などを検討するとともに、工場ごとに年に一度温暖化防止に関する教育訓練を実施する等して、本体制を継続していきます。